

— 小山地区社協だより —

## ほほえみ

第74号

～ともに生きる～

<http://www.sagamiharashishakyo.or.jp/chikushakyo/oyama/>

発行日・2022年3月1日  
 発行・小山地区社会福祉協議会  
 相模原市中央区向陽町8-1  
 小山公民館内  
 ☎042-755-0350  
 発行 小山地区社会福祉協議会  
 責任者 会長 長谷川澄男

第34回

## 小山地区ふれあいのつどい



あいちゃん

穏やかな秋晴れに恵まれた11月6日(土)午前10時より小山公民館において「ふれあいのつどい」が開催されました。今回もコロナ感染防止を考慮し、人数制限・事前予約制としました。予約開始と同時に定員に達し、ふれあいのつどいを大変心待ちにしていたのだと改めて感じました。

第1部「福祉講演会」では、介護施設“実の里”原理事長より『あなたは終の棲家をどう考えますか』をテーマにご講演を頂きました。老後の住まいの選択肢として民間・準公的施設等についてのポイントを簡潔にご説明いただき、**その人らしい人生を実現するためには、心身の健康・生きがい(趣味・娯楽・ボランティア)・人のかかわり(絆・助け合い)が重要な事、『悔いのない人生を送ることが大事である』事、誰もが身にしみたお話でした。**

第2部のコンサートでは、VIFサクソフォンアンサンブル(メンバー全員がサクソ奏者)による「浜辺の歌」「鉄道メドレー」他、誰もが耳になじんだ曲が次々に演奏されました。サクソによる「汽笛」の音色はまさにそのモノ、皆さん自然に足でリズムをとりながら身体をスウィングしたり…アンコール曲「花は咲く」で最高潮に盛り上がり、惜しめない拍手喝采のうちに終了しました。帰り際、多くの皆さんから『良かったよ～』のお言葉を頂きました。

一方、2階の多目的室では「こども工作コーナー」が開催され、事前に申込みをされた小学生8名が参加し行われました。共育コミュニティの皆さんが材料と用具の準備、工作指導を担当してくださり、第1部では「リサイクル万華鏡」の作成を体験しました。リサイクル品等を活用した7種の材料を一つ一つ順番に組み合わせていく中、簡単なようで少し苦労するところもありましたが、無事に完成した万華鏡をのぞいて皆の歓声があがりました。

第2部の「絵手紙体験」では、上手な筆さばきで落ち葉や木の実などを描いた秋らしい個性豊かな絵手紙を完成させていました。最後に全員に参加賞が贈呈されました。







## ジュニア☆ボランティアスクール

# 手話講習会とろう者の講話



1月8日(土)午前10時～正午まで小山公民館大会議室にてジュニアボランティアスクールが開催されました。

「福祉を学ぼう」をテーマに、小学4年生から中学1年生までの14名が参加されました。講師にろう者の木村古津恵先生、手話通訳の福崎充子先生を迎え、耳の聞こえない方とのコミュニケーション方法や簡単な手話を教えて頂きました。

ジェスチャーで「何を言っているのか?」を伝えるゲームでは、子どもたちは伝わることに自信を持った様子でした。

参加者代表の感想では、「ろう者と会話するためには、手話だけでなく筆談など会話の方法があり、手話を使わなくても会話が出来ると気づき、教えてもらった手話や会話の方法で困っていたら声をかけたい」と発表されました。

14名の感想文は小山公民館ロビーに貼り出され、多くの入館者に読んで頂きました。



## ひまわり交流会

師走のあわただしさに加えコロナ禍による人々の交流にもまだまだためらいがある日々ですが、ひとときでも笑いあえる時を過ごして頂きたいと今年度2度目の「ひまわり交流会」が12月2日(木)午前10時より小山公民館大会議室にて開催されました。

今回の交流会ではマジックショーとビンゴ大会を行い22名の参加者と共に、マジックショーではミスター TKさん出演によるスライドでの防犯講話と笑い喝采のマジックを楽しみ、ビンゴ大会では「ビンゴ〜!」の声もマスク越しに沸き上がるなどそれぞれ嬉しそうに景品を品定めしお持ち帰り頂きました。

今回も大盛況だったひまわり交流会。次年度も多くの笑い声が聞こえるようにと願いながら終了しました。





## ボッチャ練習会の再開と ボッチャ大会開催！

コロナ禍で長らく休止していたボッチャ練習会が小山公民館大会議室で11月17日(水)より再開されました。

東京パラリンピックで関心の高まったボッチャ。子どもから大人まで障がいのあるなしに関わらず楽しめる親しみやすいスポーツです。この日は久しぶりの開催にもかかわらず多くの参加者で賑わっていました。初心者でも簡単にできるボッチャですが、コントロールがうまくいかず悔しがる人、また素晴らしいプレーにはみんなが拍手で称賛しあうなど会場が一体となり盛り上がりしました。

また、昨年度は開催が見送られたボッチャ大会ですが、今年度は12月18日(土)午前9時より向陽小学校体育館で開催することができました。感染対策にマスクと手袋を全員が着用し、12チームが参加しました。

A・Bのコートに6チームずつ別れて予選を各チームが4試合行いました。順調に点数を重ねるチームや、一投で逆転勝利する試合などがあり熱戦が展開されました。予選の結果、A・Bそれぞれの1位チームが決勝戦へ、2位チームが3位決定戦に臨みました。

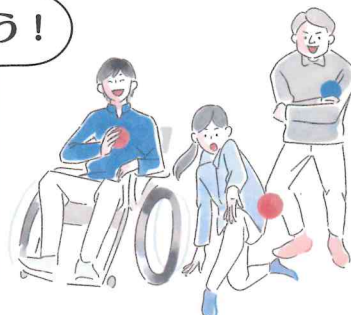
試合の結果は、(優勝)フーテン、(準優勝)70・75・85、(3位)宮下ヒマワリ、(4位)久保原男子のチームに決まり賞品が贈呈されました。



ナイスプレー



おめでとう！



ボッチャ  
練習会

初心者でも安心。ボッチャボランティアが丁寧に教えます。お気軽にご参加ください。

日時：毎月第3水曜日(令和4年度初回は4/20)午後1時30分より

場所：小山公民館大会議室(1階)

※飲み物・タオルを持参しマスク着用の上、動きやすい服装でお越しください。

## ♡ あいちゃんぬりえ展

令和3年11月～12月にかけて、小山地区社会福祉協議会キャラクター「あいちゃん」ぬりえ&「あなたがしあわせを感じたとき」をテーマにしたメッセージを地域のみなさまから募集し、大変多くの方からご提出をいただきました。

色とりどりのぬりえに心温まる素敵なメッセージは、令和4年1月5日～31日まで小山公民館ロビーに貼りだされ多くの方にご覧いただきました。

今後もみんなで楽しめる企画を考案中です。お楽しみに！



本村市長も来館されました



# おやま生活サポートセンター NEWS No.2

## 互<sup>ご</sup>近<sup>きん</sup>助<sup>じょ</sup>メッセージをご紹介します

可能な限り自分のことは自分で対応した上で、それでも自分で対応できなくなり、頼れる家族などもない時には助けを求めよう。誰もがいずれ「助けられる人」になっていい。願わくば元気なうちは出来る範囲で構わないから「助ける人」になれるといい。人間どうし、どこかで迷惑を掛け合い、そして助け合いながら生きています。「困ったときはお互い様」の気持ちで、ご近所どうし助け合い支え合いましょう。

簡単な力仕事、ごみ出し、通院同行、掃除のお手伝い、買い物代行、庭の草取り—などなど

**日常生活での困りごとをお手伝いします**

**090-5990-0294**

小山地区社会福祉協議会  
おやま生活サポートセンター

私の緊急連絡先

昨年、マグネットステッカーを作成して活動対象と思われる地域の方々にお配りしています。磁石になっていますので冷蔵庫などに貼りつけておくことができます。また、「私の緊急連絡先」をペンなどで書き込みし、“もしもの時”に備えておくことができます。入手を希望される方は、地区社協事務局(電話 042-755-0350 平日9:00-17:00)へお申し出ください。



### おやま生活サポートセンター



### ご協力ありがとうございました

～令和3年小山地区内の共同募金額～

赤い羽根募金：895,753円  
年末たすけあい募金：420,120円

「じぶんの町をよくするしくみ」

赤い羽根共同募金は、地域の社会福祉施設の整備や私たち地区社会福祉協議会が取り組む地域福祉活動にも活用されています。



令和3年10月2日実施  
相模原駅前での街頭募金

### 編集後記

感染症の早期収束を願いつつ年度末を迎えます。さまざまな制約があり苦労も多い一年間でしたが、各種の事業を実施することができました。活動推進にご尽力くださった方々に心より感謝を申し上げます。

広報委員会一同

### ～あなたのお宅で楽しいお話を聞かせてください～

子供のころの故郷の思い出、青春時代の楽しく苦しかった時代、そんなお話をあなたのお宅にお伺いして聞かせて頂きます。あなたのご都合のよい時間に2名でお伺いいたします。費用は一切かかりません。是非、お気軽に下記連絡先までお電話ください。(感染症対策に十分配慮してお伺いします)

小山傾聴ボランティア・クローバー  
(女性24名、男性6名のボランティアグループです)

代表：原 武夫

☎090-6506-2273



### おめでとうございます

各福祉活動功労賞が次の方々に授与されました。おめでとうございます！

相模原市社会福祉功労者表彰

井上 廣美 様、石井 良美 様

相模原市社協福祉活動推進功労者表彰

遠藤 秀雄 様、柴田 みち子 様

神奈川県共同募金会県知事表彰

小山傾聴ボランティア・クローバー様